

平成 30 年度 地方創生に資する金融機関等の

「特徴的な取り組み事例」として、内閣府特命担当大臣表彰を受賞

津山信用金庫

津山信用金庫は、平成 31 年 4 月 18 日（木）に中国財務局において、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局が運営する「平成 30 年度 地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取り組み事例』」に認定され、地方創生総括官補井上誠一氏から、片山さつき地方創生担当大臣の名代として、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）の表彰を受賞しました。

当金庫では、持続可能な地域を実現していくため、地域活性化に取り組むことをビジョンに掲げています。その核となるのは「人」と考え、小学生からシニア世代まで幅広く、地域に寄り添った様々な支援活動を行ってきました。

今回特徴的な取り組みとして表彰されたのは、そのような活動の一つの取り組みです。

①テーマ

中学生が地域の大学生や大人と交流する NPO 法人だっぴ主催のキャリア教育プログラム『中学生だっぴ』への参加と支援

②概要

中学生が大学生や地域で活躍する大人と車座になって、働き方や生き方などをテーマに対等な関係で、本音で話し合う「中学生だっぴ」を通じて、多世代の交流を促して地域や社会への興味関心を高め、地域の未来を担う人材の育成を積極的に支援した。

③内容

- ・中学生 3～4 人に対し、大学生や地域の大人 3～4 人の計 8 名程度のグループを作り、優しさって何？勉強する意味は？どんな大人になりたいか？など、働き方や生き方に関する多様なテーマで話し合いを実施した。
- ・「対等な関係で本音を話す」ことを重視し、意見を否定せずに受け入れたうえで、中学生が「自分らしさ」や「若者としての可能性と実現力を開拓する」ための前向きな話し合いを原則とした。中学生は、大学生や大人の言葉を聞き、地元で活躍する大人の多様な価値観を知るとともに、地域や社会への興味関心を高めた。さらに、少し先の目標を持ち、「心に灯を灯す」ことで、次の自分の行動に移す支援を行った。

④実施にあたり工夫した点（当金庫の役割・推進体制面・PDC A サイクル面等）

- ・当金庫からは、平成 30 年 11 月、平成 31 年 3 月に職員 4 名が「地域の大人」として参加。このメンバーは多様な地域での勤務経験やキャリアを積んだ中途入庫者（I ターン移住者含む）と子育て経験のある女性職員とすることで、中学生が様々な考え方に触れる機会を創出した。
- ・当金庫は、平成 30 年度に岡山県から「岡山県男女共同参画社会づくり表彰」を受けており、女性の能力活用・職域の拡大、家庭と職業生活の両立支援などに取り組んでいる。また、ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組む企業として「津山市ワーク・ライフ・バランス推進企業」に認定されている。

- ・地方での女性活躍を推進する観点から、女性を多く雇用する地元の信用金庫として、働く女性がより多く参加する形での開催を提案。平成31年3月には、当金庫の女性職員がだっぴへ参加し、女子生徒に対して、地域で働く魅力や生き方を自分の言葉で分かりやすく伝え、将来の進路の選択肢を広げることに貢献した。

⑤取組の成果（取組中の場合は目標値・KPI等）

- ・参加した中学生からは「親や教師以外の大人と話ができる機会となった」、「いろんな考えが聞けて良かった」、「頑張ろうと思った」、「また参加したい」など前向きな意見が多く聞かれ、参加した当金庫職員も、自分の子供以外の中学生との話し合いで、自己を見つめ直し新しい刺激を受けた。
- ・中学生に対して、地域への愛着と自己肯定感を高める契機を提供することで、次世代の担い手を育み、地域の持続性を高める取組となった。
- ・働く女性が地元の女子生徒と真剣に対話する場を作ることで、地方での女性活躍を積極的に推進した。

当金庫では、今後も地域の活性化のために、様々な地域活動に参加してまいります。

本件の内容につきましては、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部HPもご参照ください。

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/pdf/1903_research_kinyul.pdf



(井上総括官補（左）、松岡理事長（右）)



(地方創生担当大臣表彰)

以上



作州地域のパートナー・よろず相談信用金庫



津山信用金庫



お問合せ先
津山信用金庫 地域創生部
TEL : 0868-22-4136